

# 渋谷区立図書館だより



VOL. 176  
2014.8.1

- ★「しぶやおすすめの本50」2014 読書コンクールのご案内
- ★ 鹿児島市から「第24回椋鳩十児童文学受賞作品」を受贈!
- ★ 講演会風景と本の紹介
- ★ 私のおすすめの1冊!「からだのなかでドゥンドゥン」
- ★ 代々木のひみつをさがせ!「探検 代々木を再発見!」
- ★ 8・9月の行事予定表



## 「しぶやおすすめの本50」 2014 読書コンクール



「しぶやおすすめの本50」の中から好きな本をえらんで、絵や文を作る読書コンクールを行います。

次の4つの中から 1つ選んで応募してください。

- 1 感想画      2 本の帯      3 POP(ポップ)      4 感想文

(※ 保育園・幼稚園児は、1の感想画のみ)

応募作品の中から優秀作品を選んで表彰します。

**対象**：渋谷区内在住の保育園・幼稚園児、小中学生など、満4歳～中学生までの方  
※ **区立の園・学校に通っている場合は、園・学校を通しての応募になります。**  
**くわしい 応募方法は、図書館などに置いてある応募要項を見てください。**

**応募期間**：平成26年8月14日(木)～平成26年9月8日(月)(休館日を除く)

◆11月中旬ごろ、表彰式をする予定です。



リーフレット



パンフレット



参加賞のハチクリアファイル

\*渋谷区立図書館ホームページ  
<http://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/>  
ホームページから資料の予約ができます。

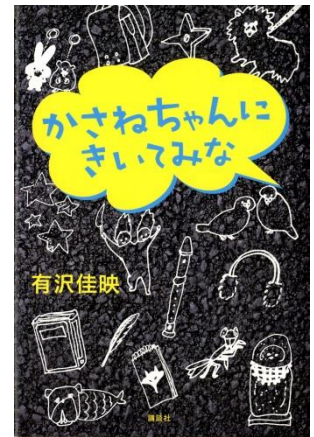
●渋谷区ホームページ  
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

## 鹿児島市から「第24回 椋鳩十 児童文学賞受賞作品」を受贈！

鹿児島市では、日本を代表する児童文学者椋鳩十氏の業績をたたえ、永く顕彰するとともに、児童文学の発展に寄与するため、平成2年から「椋鳩十児童文学賞」を創設しています。災害時相互支援協定を締結していることや、毎年5月に実施されている「渋谷・鹿児島おはら祭」などでつながりの深い渋谷区と鹿児島市の都市交流の一環として、今年も鹿児島市から渋谷区立図書館や小中学校に受賞作品を寄贈していただきました。

書名は「かさねちゃんにきいてみな」で、著者は、有沢 佳映氏です。

みなさん、ぜひ読んでみてください！



## 講演会風景

### と本の紹介



3月16日講演会風景

児童文学作家上橋菜穂子氏を講師に招き、中学生から大学生を対象とした講演会を開催しました。演題は、「物語と歩んできた道 ～作家になるまで、そして、いま～」です。上橋氏自身が作家を目指して歩んできた道のりや幼少の頃おばあちゃんから聞いた昔話のことなど、笑いを誘うユーモアを交えお話しいただきました。その直後、上橋菜穂子氏は、児童文学のノーベル賞といわれる「国際アンデルセン賞・作家賞」を受賞されました。そして、当館の展示コーナーで「上橋菜穂子国際アンデルセン賞・作家賞受賞記念展示」をおこないました。



国際アンデルセン賞受賞記念展示会風景（中央図書館）



## 私のおすすめの1冊！

今回は、代々木図書館 児童担当のおすすめの1冊です。



『からだのなかでドゥンドゥン』からだの中の音をきいたことがあるかな？

木坂 涼 ぶん

だれかのむねに耳をぴったりつけてきいてごらん。

あべ 弘士 え

ドゥンドゥンってきこえるよ。いぬもねこも

福音館書店

みんな音がしているよ。空のとりも海のくじらだって

～ようちえん・ほいくえんむけ～

みんな生きているんだよ。

代々木の  
ひみつを  
さがせ!!



# たんけん 代々木を 探検 再発見!

## ひみつ② 消えた代々木の川

かつて代々木の地に流れていた川がありました。水車もあり、稲や桑・茶を栽培していました。「代々木は茶どころ」と言われていたのです。昭和初期から昭和30年代にかけて、川は暗渠になりました。

## ひみつ① 田山花袋旧居跡

明治39年から昭和5年に亡くなるまで住んでいました。「蒲団」「田舎教師」など、多くの作品がこの地で書かれました。

## ひみつ③JR代々木駅

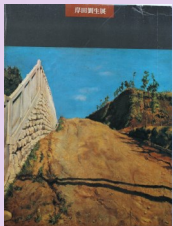


屋根には弓状に加工した古いレールが再利用されています。

## ひみつ④ 高野辰之住居跡

唱歌「春の小川」や「故郷」「朧月夜」などの作詞者として知られています。

## ひみつ⑤ 「切通しの坂」



この坂道は、岸田劉生が風景画「道路と土手と塀」として描いたことで知られています。

大正の代々木近辺の風景

⑤『岸田劉生展』  
岸田劉生／画  
東京国立近代美術館／編  
朝日新聞社

## ひみつ⑥ 菱田春草 終えんの地

眼病を患った春草が、晩年の2年余りを過ごした場所です。代表作「黒き猫」「落葉」は、代々木の地で描かれました。



代々木の  
ことなら  
ぼくにお任せ!



## 読みま専科

今、花袋を読むなら

①『東京百年散歩』  
田山花袋／著  
辰巳出版



②『東京「暗渠」散歩』  
本田創／編著  
洋泉社

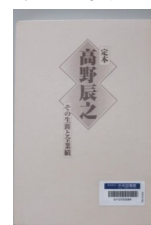


川の痕跡を探せ!



③『中央線 街と駅の120年』  
三好好三／編著  
JTBパブリッシング

④『定本高野辰之』  
芳賀綏／監修  
郷土出版社



日本人の心の歌

⑥『もっと知りたい  
菱田春草』  
鶴見香織／著  
東京美術



